

株式会社 Report

職員倫理綱領及び行動指針

私達、株式会社 Report は、地域に根ざし、私達でしか担えないこと、私達だからこそ取り組まなければならないことに果敢に挑戦し、安心と笑顔が広がるみんなの居場所となれるよう地域福祉のいっそうの向上に努めます。

この倫理綱領は、私たちが日々の業務において守るべき原則と行動指針を示すものです。利用者支援の原則から始まり、職員の基本姿勢、チームワーク、地域社会との関わり、そして専門職としての責任まで、包括的な内容となっています。

利用者支援にあたっての原則



1 差別の撤廃

私たち職員は、利用者の人権擁護に努め、利用者一人ひとりをあるがままに受容し、国籍、出身、性別、年齢、宗教、文化的背景、社会経済的地位、障害や疾病の状態、性的指向、その他いかなる理由によっても差別をしません。

2 自己決定と個人の尊重

私たち職員は、利用者一人ひとりの個性を理解し、利用者自身の選択と決定を尊重しながら、利用者の自己実現と自立的な生活の実現を目指します。施設利用にあたっては、本人の尊厳や利益が損なわれないよう、利用者主体の支援を行います。

3 平等な立場と社会参加の支援

私たち職員は、利用者的人格や行動を情緒豊かに受容し、内面理解を通じて共感し合い、常に当事者意識を忘れずに支援します。また、利用者が地域社会の成員としての役割を担いつつ、自立的で豊かな生活を送ることができるように支援します。



職員の基本姿勢（前半）

- 1 利用者利益の優先
- 2 傾聴と個人の尊厳の尊重
- 3 個人情報保護・秘密保持

利用者利益の優先

私たち職員は、業務の遂行にあたり、利用者の生活をより豊かにするため、利用者一人ひとりのライフステージに応じた安全・安心・満足を充足する支援サービスを最優先に考えます。私的利用は絶対に禁止します。

傾聴と個人の尊厳の尊重

私たち職員は、利用者一人ひとりの声（訴え）に傾聴し、利用者的人格とプライドを尊重した関わりを持ち、信頼関係を強めていくことを通して、利用者が安心と誇りを持つことのできる生活の実現を目指します。

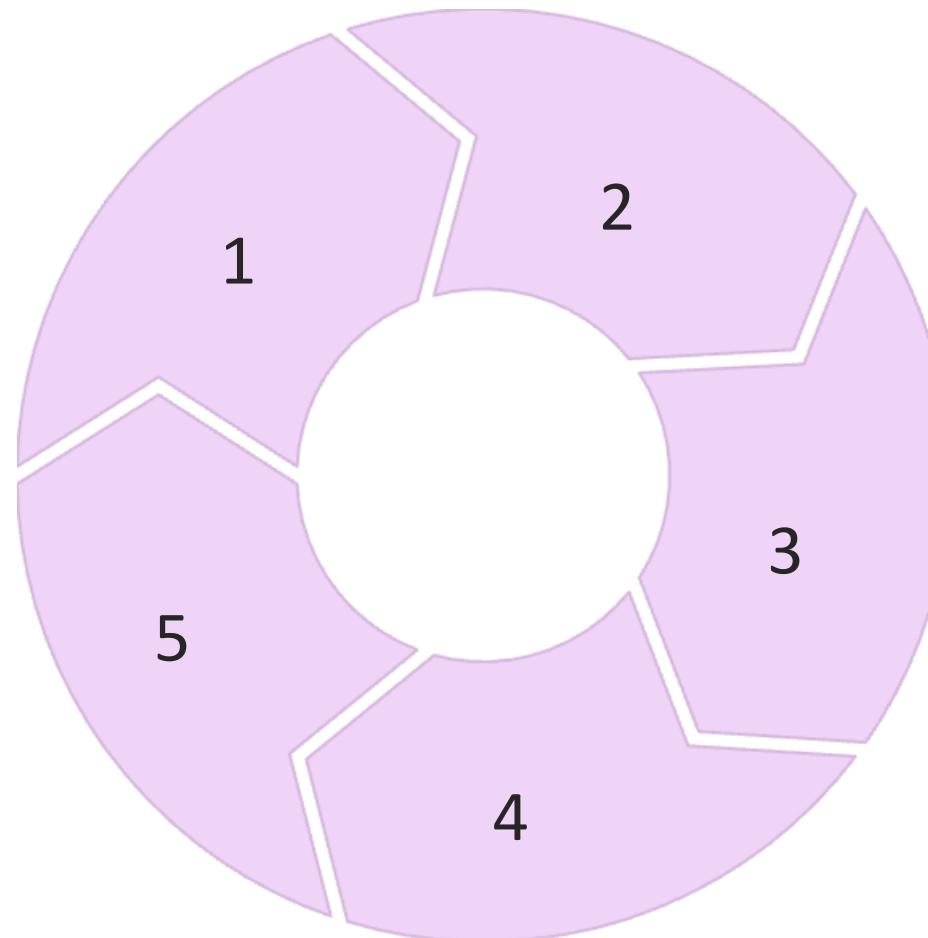
個人情報保護・秘密保持

私たち職員は、利用者や関係者から個人情報を得る場合、その利用目的を明確にした上で、業務上必要な範囲にとどめるとともに、知り得た利用者一人ひとりの情報の秘密の保持と適切な取り扱いに努めます。

職員の基本姿勢（後半）

プライバシーの尊重
利用者のプライバシーに最大限配慮したサービス提供

性的差別・虐待の禁止
性別・性的指向等による差別やハラスメントの絶対禁止



- 知る権利と説明責任
利用者が自ら利用できるサービスや社会資源について知る権利を尊重
- 記録の開示
要求があった場合の所定方法での記録開示
- 体罰・虐待の禁止
身体的・精神的苦痛を与える行為の絶対禁止

私たち職員は、利用者のプライバシーを最大限尊重し、必要な情報を適切な方法で提供します。また、いかなる理由があっても体罰・虐待や性的差別・ハラスマントは絶対に行いません。これらの原則は、利用者の尊厳を守るための基本的な姿勢です。

同僚との関わり（職員のチームワーク）

最良の実践を行う責務

私たち職員は、現場において最良の職務を遂行するために、自らの専門的知識・技術を惜しみなく発揮します。利用者一人ひとりのニーズに最大限に応えるため、常に自己研鑽に努めます。

敬意と連携・協力

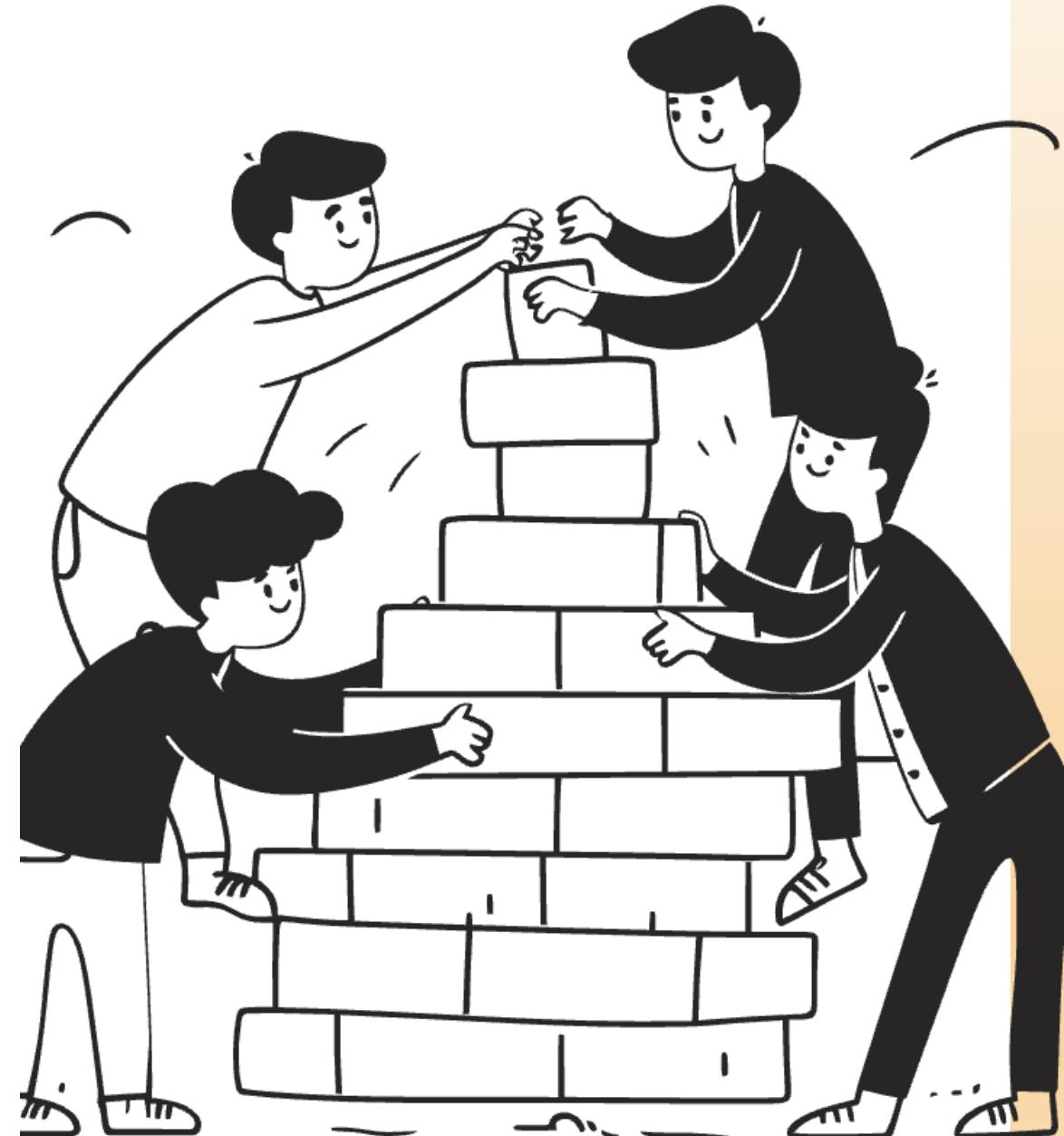
私たち職員は、相互の専門性を尊重し、敬意を払うとともに、常に迅速な「報・連・相」（報告・連絡・相談）を行い、連携・協力し合います。チームワークを大切にし、より良いサービス提供を目指します。

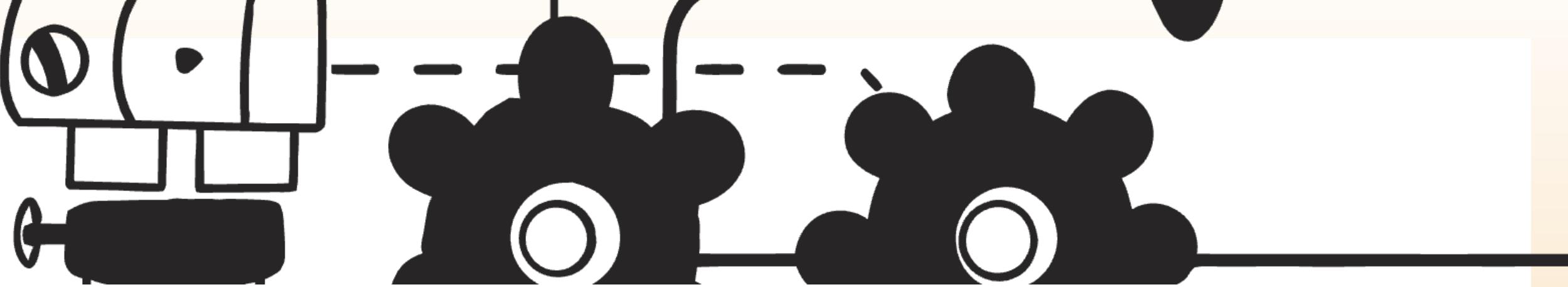
相互批判と社会的ルールの遵守

私たち職員は、必要に応じて真摯な態度で利用者支援の内容について相互批判します。また、関係法令や法人の定めた諸規定を遵守し、一社会人としてのルール（モラル）も守ります。

通告義務

私たち職員は、本綱領から逸脱した行動をとり、利用者や職員の権利、身体、財産等を侵害したり、侵害する危険性のある事柄を知った場合、これを放置せず直ちに通告します。





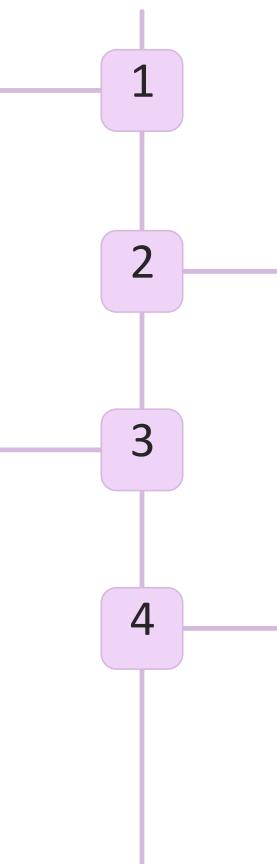
関係機関、家族、地域社会との関わり

関係機関・家族との連携

私たち職員は、利用者一人ひとりの生活の向上や生活上の諸問題の解決のために、苦情解決の仕組みを活用しながら、関係機関や家族・保護者との連携を密にし、継続的に連携していきます。

情報開示とコンプライアンス

私たち職員は、本綱領の遵守が義務であり責任があることを自覚するとともに、地域社会の構成員として関係法令を遵守し、情報開示に努め、誰に対しても誤解を与えることなく、信頼関係の構築に努めます。



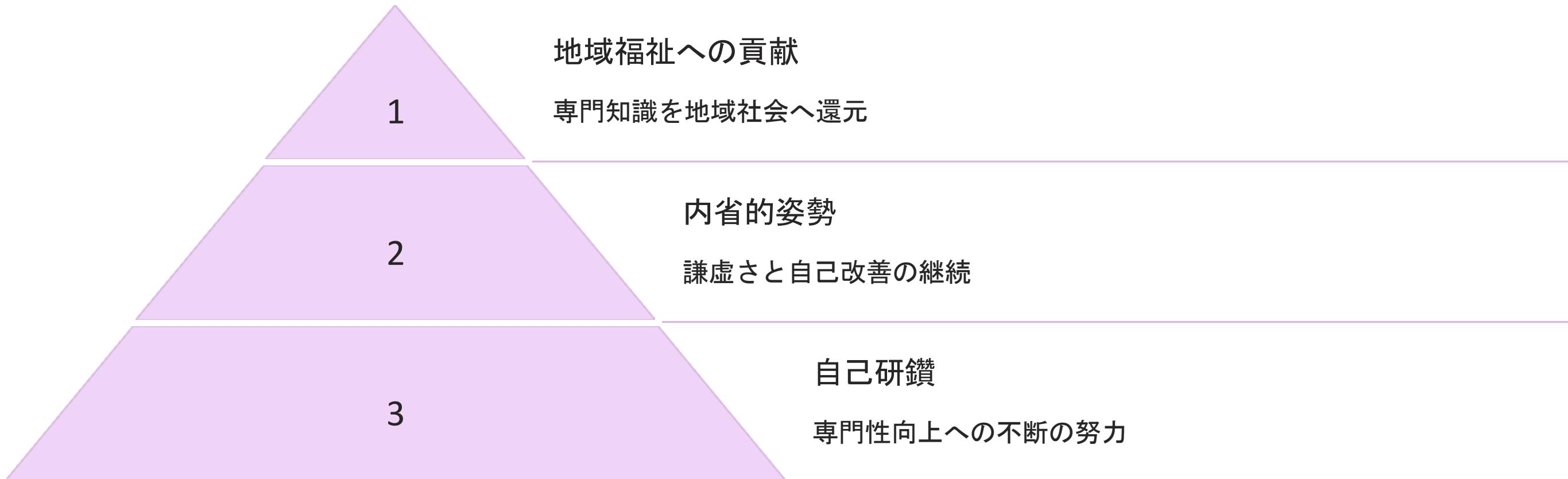
地域との連携

私たち職員は、利用者一人ひとりが地域の中で市民として生活していくために、常に地域社会との関わりを持ち、理解と協力を得られるよう努めます。地域社会を共有の財産として活用しながら支援します。

環境保護と社会正義の実現

私たち職員は、業務上発生する環境への影響を考慮し、環境保全に向けて意識向上を図ります。また、社会の不正義の改善や福祉の向上、利用者の問題解決のため、施設内から地域社会、さらには国際問題にも関心を向けています。

専門性への責任



私たち職員は、社会から託された業務を全うしていくために、常に研鑽に努め、専門性を高めます。自分自身の知識や技術の限界を認識し、謙虚な姿勢で業務に臨み、広く意見や教えを請い、関係者や関係機関と連携します。

また、自分本位の支援に陥らないよう、常に自分自身の利用者支援の内容を省みて、利用者本位に改善しようとする姿勢を持ち続けます。職務遂行によって得た専門的知識や技術を、地域社会の福祉の向上に役立てていきます。

倫理綱領の実践に向けて



綱領の理解と内在化

私たち職員は、この倫理綱領の内容を十分に理解し、日々の業務の中で実践していきます。形式的な遵守ではなく、その精神を内在化し、自らの行動指針とします。

継続的な振り返りと改善

定期的に自らの行動を振り返り、この綱領に照らして評価します。不十分な点があれば、積極的に改善に取り組みます。また、同僚との対話を通じて相互に高め合います。

社会的責任の自覚

私たち職員は、その立場を利用した信用失墜行為を絶対に行いません。社会福祉の担い手として、常に高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚して行動します。

理念の実現

最終的には、株式会社Reportの理念である「安心と笑顔が広がるみんなの居場所」の実現を目指し、地域福祉のいっそうの向上に貢献していきます。